

あやがわ

# 議会だより



綾川町成人式(H19. 1. 3)  
綾南農村環境改善センター

2007  
No. 3  
平成19年1月21日

新年のご挨拶 .....	2
定例会のあらまし .....	3
一般質問に7人が登壇 .....	4~7
委員会報告 .....	8~9
決算特別委員会報告 .....	10~11
傍聴記 .....	12



## 町道改良工事費に4000万円

かやはらかみすえばたけ ふじ たなやさかせん  
 萱原上陶畑・藤の棚八坂線

平成18年第6回定例会は、12月19日から12月22日を会期として開会しました。町長から提案理由の説明、7人の議員による一般質問に続き、平成18年度一般・特別会計補正予算など13件、また、議員発議による意見書が提出され、いずれも原案どおり可決しました。また、9月議会から継続審査となっていた、平成17年度決算についても、本会議において特別委員会の報告を受け、議員一同承認しました。今議会の傍聴は、羽床小学校6年生17名を含む22名でした。

人権擁護委員の推薦



矢島キミ子 氏 (62才)  
 綾川町羽床下594番地

### 意見書を可決

森林・林業・木材関連産業政策の充実と国  
 有林野事業の再構築に関する意見書

今日の森林・林業や木材関連産業は、国産材の価格低迷が長期に続く中で、林業の採算性が悪化し、そのことが森林所有者の林業に対する意欲を失わせ、適切な森林の育成・整備が停滞し、森林の持つ多面的機能が低下している実情にある。

(中文省略)

よって、国におかれては、森林・林業基本計画の着実な実行や、地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策の着実な実行、そして多面的機能維持を図るための森林整備等の推進に向け、次のことを実現するよう強く要望する。(以下省略)  
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年12月22日  
 香川県綾歌郡綾川町議会

提出先・衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣・財務大臣・農林水産大臣・環境大臣・林野庁長官

### 補正予算

#### 一般会計

歳入歳出それぞれ6,708万8000円の増額補正し、補正前の予算と合わせると、85億3,943万5000円となりました。おもな内容は、大規模小売店進出計画にともなう町道萱原上陶畑・藤の棚八坂線の拡幅工事費として、4000万円が計上されました。

#### 墓園事業

歳入歳出それぞれ63万5000円の増額です。

#### 国民健康保険陶病院

職員の内部異動に伴い、給与費で、1,077万6000円の増額です。

#### 水道事業

収益的収支で、下水道工事にもなう水道管の移設工事のため、収入支出ともに1450万円の増額です。

#### 土地改良事業

ため池の老朽化に伴う堤体決壊被害を防止するものです。

#### 特別会計

#### 老人保健

歳入歳出それぞれ2億961万円の増額です。



改修工事が終わった庄屋池 (陶地区)

水路についても、老朽化により通水障害が起きているため整備を行いますが。

### 臨時会を開催

平成18年第5回臨時会を11月20日開会。議案1件を原案どおり可決。

### 工事請負契約

◎林道災害復旧工事

(塩江琴南線)

契約金額

8505万円

契約相手

影山建設(株)



# いっばん質問

大谷 照美 議員

**Q** 里山の再生を

**A** 具体的な計画策定を進めるよう努力

問 今や、全町的に竹林が頂上まで上がっている所があり、大雨が降った時にはそれらが土石流など大きい災害の元になる危険を感じている。県の環境森林部や西部林業事務所に行き、調べると赤松・黒松・クヌギ・ケヤキ等は苗木に補助金が出る。故郷再生・里山再生や紅葉の季節には観光ということも考えられる。山の再生により、山に命を吹き込み、山から命をいただくということを実践に考えなくてはならない。



竹林が拡大する里山

い。竹林の伐採および植林を早急にすべしと考える。町長 現在の里山、森林の状況は輸人材、代替材等の増加普及による林業活動の低迷、高齢化、竹林の拡大等により森林の持つ機能の低下が懸念されており、町内においても放置竹林の

拡大、まん延が数多く見られる。「もみじ」を植栽し、観光資源とすることも一案である。町民、ボランティア等のご協力をいただき協働した取り組みとすることが里山再生への近道である。町内における公有林、民有林等における森林の状況等の調査を行い、森林の持つ公益的機能を維持し、具体的な計画策定作業を進めるよう、努力していききたい。

村瀬 秀則 議員

**Q** 障害者福祉計画の取り組みは

**A** 策定委員会にて検討中

問 障害者自立支援法が施行され、自己負担増額、単位制の導入、食費の自己負担、介護保険優先のサービス提供制限など、また、日常生活用具の指定・実態が分かりにくい程度区分の認定、地域間でのサービス低下が余儀なくされており、本町の障害者福祉計画の取り組みを問う。

1、利用者負担軽減を前提での提供及び新たなサービスへの移行は。

2、医療・雇用・福祉・教育の連携については。

3、重障者に対して国庫



負担基準に基づいてのサービス提供はどの程度を見込んで取り組むのか。

町長 「綾川町障害福祉計画」を、本年度中に策定するため、アンケート調査を実施し、綾川町障害福祉計画策定委員会を設置し、検討を行っている。

1、国においても、現在、軽減措置を検討しているところでもあり、その状況を踏まえた上で、検討する。

2、対応できる人材の確保・育成、サービス事業者への支援、さらに

は、多様な障害体制に対応できる援助技術の共有化に向けた連絡会の開催や事業所間の情報交流など連携体制の構築を考えている。

3、国の基準に基づき行っていくよう考えており、今回の福祉計画では、訪問系、日中活動系、居住系各サービス、地域生活支援事業のそれぞれの供給見込みを現在検討中で、また、三年後には見直しもあり、その折には評価を行った上で検討を加えていく必要がある。

Q

町行政について

A

災害復旧は完了している

問 合併して綾川町となり住民は希望と不安が交互していると思う。住民の声をきく対話集会もなく若い人たちが永住できないよう努力してほしい。

娯楽・花火大会。中国とのスポーツ交流。綱引大会には賞品に酒、米。カローリングは綾南地区にないから中止するなど、競技種目により変動差が強く考えられる。

台風災害も完全に復旧していないし、一戸では工事・災害対処にしない。もみじ温泉に温泉源水の井戸掘りしている状況を報告してほしい。

町長 綾南町・綾上町の合併により新たに綾川町が誕生し、活力に満ちた町づくりをめざし努力し

ている。サマーフェスティバルについては、前年と予算の対応に差異が生じたが、今後の議論をしていく課題である。賞品に

米を出しているのは綱引き大会である。参加賞・各チームに酒・入賞チームに米を賞品として出している。  
16年度台風災害は17年度で完了している。もみじ温泉の源泉は片道7・5kmを1日3回、4回タクシー車で搬送しているが、効率的な運営とはいえず、福祉センター周辺で掘ったが最終的に持続性の確保には至らなかった。



高山・常ヶ丸ダム

田辺 健次 議員

Q

ボランティア支援は

A

看板等の設置を検討

問 当町では、町花の水仙については水仙ロードを整備し、町民及び県民にまで心の癒しとしての役割を果たしており、農地区画整備が完成し景観保全計画で「華の郷をつくり育てる会」を発足。畦畔法面には萩を、町道には水仙を植栽している。ボランティア継続のために町の協力支援を望む声が多く、町道の幅員が狭く車の乗入れ等マナーを守らない人達で地元住民

に多大な迷惑をかけており、乗入れ禁止にご協力の看板設置を是非ご検討いただきたい。

町長 水仙ロードについては枝垂桜と共に町のPRに大きく寄与しており、地元有志の方々の御苦労、熱意と努力には深く感謝している。町の観光としては枝垂桜については個

人の所有物であり、水仙ロードは地元団体の自主的な取り組みであるため、町の介入は難しい。道路管理者である町は地元住民の利便性、安全性を考慮して駐車場の案内板、枝垂桜のある民有地内への立入り禁止看板等の設置について検討し実施していく。



ボランティアで維持されている水仙ロード

安藤 利光 議員

**Q**

支所機能が十分果たせるように  
統廃合を含め、見直しを  
したい

**問** 綾上支所は、住民サー

ビスの低下防止を最優先して利便性を最大限に考慮した上で、本庁との連絡が図られるよう人員・課を設置されたが、職員間からは課が近く半分になるのでは、との声を聞かされた。支所機能が十分に果たせるよう、町民の声を聞き、対応してほしい。

**町長** 現在、行政改革大綱(案)を策定中で、原案がまとまり次第、提案したいと考えている。支所機能の分散化で、事務効率低下の部門は統廃合を含め、見直しを検討したい。

**Q** 友好交流の見直しも必要では

**A** 今後も友好関係を深めたい

**問** 中国新築市と友好都市を締結して12年目。双方が交流を深めてきたが、成果は一体どうだったのか。本当にメリットがあるのだろうか。十分検証

証が必要である。新町となったばかり、交流も動けば当然お金も要ってくる。今後見直しも必要では。

**町長** 中国新築市とは、平成7年に友好交流関係の発展のため締結し、経済・農業などを行うようにした。平成9年と17年に訪問団派遣を行ってきた。今後も友好関係を深めたい。



仕事に精励している支所職員

松浦 正昭 議員

**Q**

予算編成計画は

**A**

計画的な財政運営を

**問** 綾川町が誕生して、まもなく1年が来ようとしているが、地方財政は非常に厳しい情勢になってきている。

新年度の予算は、厳しい緊縮予算を組まざるを得ないものになってくるものと思われる。

「いきいきと笑顔あふれる定住のまち」を目指している町にとって、綾川町2年目の予算編成にどのような姿勢でのごもつとしているのか、2万

6200人の町民の要求にどのように答えるのか、新年度の予算編成計画について町長の考えを聞きたい。

**町長** 平成17年度決算において、普通会計の経常収支比率が84.6%、長期債務の残高が145億円に達するなど、財政の硬直化が進んでいるので、効率的かつ着実な推進をはかりたい。国庫補助に留意し、時期を失することなく効果的に努める。つぎに事務事業の見直しと優先順位の選択につ

いて、厳しい財政状況を踏まえ、必要性、緊急性、事業効果等による優先順位を明確にし、施策選択の一層の徹底を図り、計画的な財政運営を確保するため、後年度負担の把握に努め、起債は計画的に行いたい。

自己決定、自己責任の理念に基づき、効果的、効率的な行政運営を念頭に、英知を結集し、創意工夫を凝らしながら抜本的な改革改善に取り組むたい。



19年度予算編成に多忙な町役場



河野 雅廣 議員

発達障害児童の支援と  
対策は  
保護者への啓蒙と、  
相談体制の充実を図る

Q

A

し、特別支援「コーディネーター」の教員を位置づけて、全職員で支援する体制を整備している。また、町統一の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、幼・保・小・中が連携しての支援・対策の話し合いを進めている。

今後、保護者への啓蒙と相談体制の充実を図る。

Q 水難事故防止対策は

A 危険箇所の把握と啓発活動に努める

問 事故発生箇所、並びに危険箇所の安全対策は、できているのか。各自治会地域及び周辺には、どのような危険箇所が潜んでいるのか。町内全域にわたり危険箇所の把握と対策に努めていただきたい。

町長 安全対策として地域安全活動において、

水難事故防止看板設置・水難事故防止祈願祭・水難事故防止教室の開催など、啓発活動にも取り組んでいる。さらに自治会長会等の集会の際に呼びかけを行い、危険箇所の把握および啓発活動を実施する。

ほかにもこんな質問がありました

いじめ問題の克服は

Q いじめ問題の重要なことは、いじめそのものをなくすことではなく、いじめに走るほど追い詰めていく子供たちの状態を見直すことだと思うが。

A 学力だけの見方は、子供たちが縛られる。よい面を認め合い、成長していく学校である。町

は町講師4名、生活指導員5名の配置をいたたき、子供たちと向き合える時間を確保し、図っている。

町民の生活を守る税制に

Q 高齢者などに高齢者控除や定率減税の廃止により、増税が集中してきている。町も国に働きかけては。

A 昨年度、地方税法の改正があり、議案の可決もされた。町も町村会、

関係6団体を通じ、要望したい。

新町建設計画は

Q これからの町づくりの方向はどのように進めるのか。

A 1000人委員会を10月に開催。その後、11月に提言書をいただいた。今後は総合振興計画策定委員会で審議、年度末までに議会承認をいただく予定である。

Q 地産地消対策、とりわけ学校給食についての取り組みは。

A 学校給食地場産物の活用は、現在、JA綾歌南部支店管内産のコシヒカリ一等米を給食米飯として使っている。野菜もJA綾坂営農センターから購入し、小中学校と幼稚園で使用し、食育推進をしている。

寄付金の報告

綾川町育英資金として

○金一封

綾川町陶627番地8  
田村 豊雅 様

○金20万円也

綾川町滝宮297番地  
155  
岡 宏子 様

○金3万5315円也

綾川町民ゴルフ大会  
実行委員会会長  
丸山 弘善 様

○金 10万円也

綾川町滝宮2302番  
地6  
丸山 弘善 様

○金 15万円也

綾川町牛川548番地  
笹川 欽夫 様

○金50万円也

綾川町滝宮2537番  
地  
藤井 英司 様

○金11万円也

綾上佛教会 様

問 近年「自閉症」や「アスペルガー障害」「AD/HD」(注意欠陥・多動性障害)、「LD」(学習障害)といった発達障害を患う子供達に対し、親、幼保、小中学校、担当課が横の連携を深め、考慮すべきではないか。保護者の悩みと不安を解消させる今後の支援と対策は。



支援対策に取り組んでいる学校施設

教育長 小・中学校において、生活指導員を配置

### ボランティアで通学時の安全確保を



下校児童を見守るボランティア

**問** 老人会員などにジャンパー等を支給し、協力をお願いしては。

**答** 本年度、県補助金を受け、タスキやステッカー等の消耗品を整備しました。現在、昭和小学校区では、婦人会や老人会の協力で登下校時の見守りが

実施され、効果が上がっています。息の長い活動にするためには、組織作りが重要であり、十分に検討します。

### 町職員の削減を

**問** 執行部も職員の早期退職者を募るなど、人件費の削減に向け、努力が必要では。

**答** 合併時に幾度も議論を重ね、人口・財政規模等の類似自治体を参考にしました。通常は人口百人に対し一人が理想とされていますが、今後の行革大綱策定にあたり、十分検討します。

### 出動体制の確立を

**問** 先般、羽床下で火災が発生し、旧町境の羽床上と近距離にも拘らず、綾南分団が出動した。緊急時には早期対応が必要であり、綾上分団の出動も要求されるが。

**答** 合併時の協議で現在の体制に至っています。今後、役員会や各分団と協議し、迅速かつ効率的

な消火活動が図れるよう検討します。

### 滝宮財産区正式加入

**問** 今回、滝宮財産区として、県総合事務組合に加入したのはなぜか。

**答** 従来、管理委員会として運営していましたが、合併に伴い、他の陶・羽床・杣所財産区議会と同様な運営形態とし、組合加入するものです。

### 財政状況等から、財産区は、簡易な運営方法など検討してはどうか。

**答** 各財産区の選挙執行・財政支援は、当面、従来どおり実施します。運営については、各財産区に種々事情もあることから、今後検討します。

### 法令遵守の行政事務を

**問** 旧2町の慣行を基本に事務執行しているようにならない。法令等を遵守すべきでは。

**答** 早く一体化した行政運営ができるよう努力します。

### 大規模小売店進出か

**問** 大規模開発の進捗状況は

**答** イオンについては、既に大規模開発計画事前協議に入っており、平成十九年五月中には工事に着手できるのではないかと思われる。コーナンについては、法的な手続きは既に完了しており、工事に着手できる状態にはあるが、コーナンの都合により工事に着手していないのではないか。



大規模小売店舗予定地

**問** イオンに関連した道路拡幅箇所について、土地所有等の所管と道路部分の管理は

**答** 道路管理に関しては、町道の拡幅であり、町道として管理し、土地は道

路部分に関して分筆し、イオンが地権者より道路拡幅工事の施行同意を取り、賃貸借契約を結び、道路として使用し、契約終了後は、町へ移管する予定である。

**問** 町道等に隣接する水路への安全施設の設置は

**答** 現地を調査し地元住



民と協議し、道路幅員の確保も併せて考慮し適切な対応をしたい。

**問** 企業誘致による町の活性化も大切であり、税制面の優遇措置だけでなく、未利用の町有地を活用してもらうことを考えては

**答** 未利用地について調査をしているので、後日報告したい。

### 梅の管理は

**問** 国道バイパスの梅の管理は

**答** 町が管理しており、12月中に高松西署前より、高松市境までの4区間・約1kmについて草刈を実施する。

### 用水の安全対策

**問** 大井手用水暗渠流入部への安全対策として、スクリーン設置について土地改良事業として取り組めないか。

**答** 用水代表者と協議のうえ対応したい。

## 厚生委員会

12/21

# 香川県後期高齢者医療 広域連合の設置を承認

この制度は、75歳以上の高齢者を、現在加入している国保などから切り離し、後期高齢者だけを被保険者とする独立した医療保険制度です。国会で成立した医療制度改革法のひとつです。

被保険者は、75歳以上の者、および65歳から74歳までの寝たきりの認定を受けた方が対象となります。

**問** 75歳以上の高齢者は

**答** 38,377人。本町の高齢化率は26.1%、県平均は23.3%です。

**問** 後期高齢者医療広域連合は、扶養に入っている方も外れて一人ひとりがこの制度に入るのか、これまでの互助精神がなくなり、無駄な組織ができて町民の声も届かないのでは。

**答** 運営主体（保険者）は広域連合で、この組織は県単位で結成し、全市区町村が加入するしくみです。保険料額など基本的な運営を行い、町は保険料徴収、納付などの事務を行います。来年1月に設立、平成20年4月から施行予定。

### 保険料は月額6400円

**問** 医療保険料は月額、

**答** 厚生年金受給者の試算では、香川県は6400円、年間の年金額79万

円の基礎年金受給者は月9000円（7割軽減）。年収18万円以下の人は年金からの天引きはしない。審議の結果、県単位で安定した運営をめざすべきとの意見があり、賛成多数で承認しました。

## 視察報告 ～わたつみ苑～



厚生委員ほか20名が、老人保健施設「わたつみ苑」を視察研修しました。

当施設は、平成8年4月1日、当時の三豊郡豊浜町において、入所数80、

通所数20で設立され、平成12年4月1日には、通所リハビリ定員を40人に

変更し、施設名を豊浜町国民健康保険介護老人施設「わたつみ苑」に変更し、その後、平成17年4月1日に、豊浜町から三

豊総合病院に経営移譲が行われました。

運営としては、設置主体が病院の併設型であり、老健施設長は三豊総合病院院長が兼務しています。

職員は、医師、薬剤師、歯科衛生士は病院と兼務し、看護師、介護福祉士は本施設で採用され、事務職員4名は、市役所からの出向です。

施設の役割は  
①包括的ケアサービス  
②リハビリテーション  
③在宅復帰

また、各利用料金の内容と年度別経営状況の説明がありました。町一般会計からの年度毎の繰り入れ額、減価償却費と施設事業収益率等について説明がありました。設立時の建設費は15億円であるとの説明がありました。

④在宅生活支援  
⑤地域に根ざした、併設病院との連携のメリットを生かし、運営しています。

「運営で苦労されていると思うが、病院と併設した施設であり、安心感を与えていると思った。出来ればもう1箇所視察して、今後も調査研究したい」との意見や、「老健施設を綾川町として、今後どのように考えているのか、運営形態も考えた構想を、議会に提案していただきたい」との意見ができました。これらの意見に対し、最後に町長より、早急に判断を示したいと答弁がありました。

# 家計簿・使い道!!

## 審査・認定しました

### 一般会計

# 財政調整基金に11億円を積み立て

平成17年度の決算審査を行う、決算審査特別委員会（委員長 河野雅廣 他7名）は、11月13日、15日、16日の3日間、開会しました。

本特別委員会では、合併前の綾上町、綾南町一般会計および特別会計、合併後の綾川町一般会計、および特別会計など34会計の決算を認定しました。

#### 一般会計

歳入 129億

6268万円

歳出 117億

7199万円

差引き11億9068万円

そのうち、11億円を財政調整基金に積み立てました。

右記金額は、綾上町、綾南町、綾川町の合算額です。

#### 税の滞納が増えている

問 町税・国保税などで滞納額が増えている。また不納欠損処理もしているがその対策は。

答 従来から行っている納税相談、戸別徴収、口座振替の推進、滞納者には差押えの実施などで、

税収の確保に努めたい。不納欠損処理は、会社倒産、死亡して相続人なし

などがあり、処理をしました。

#### 町の基金と借入金

問 現在、町の基金と借入金の状況は

答 地方交付税が年々減少しているが、平成17年末で基金は34億4800万円、借入金については145億円。しかし、財

政力指数は17市町で9番

目です。今後、健全財政に向け取り組んでいく。

問 合併により、庁舎管理や広報費にどの程度費用は要したのか。

答 施設や電算の統合関係、防災行政無線などで

4億3000万円。

#### 無線放送の改善

問 防災行政無線放送の内容を改善する声が強いが。

答 町民に分かりやすい放送ができるように資質向上をめざし、人材育成に努めたい。



無線 報 告

# 決算にみる町の

## 平成17年度決算を



17年度で事業が完了した綾上小学校

### 備品台帳の整備は

#### 綾上小学校

問 監査委員から指摘があった備品台帳の整備は終わっているのか

答 綾上小学校については全て完了した。

問 旧羽床上小学校の跡地利用計画は

答 新町の5カ年計画のなかで検討していく。現在、図書館整備基金はあるが、その用途は5カ年

計画のなかで建設整備に向けて考えている。

### 綾上浄水場の

#### 安全管理は

問 浄水場の処理施設が完成したが、外部から入れないような安全管理が必要では。

答 周囲にフェンスを新設、門扉なども今年度に取り替えて工事を終えた。

### 水道料金の

#### 未集金対策は

問 未集金が1100万円余りあるが、どのような対策を

答 給水停止も含む、事務手続きを考えている。長期滞納者には誓約書も提出させ、分割納付も行うようにしている。内訳

は、町外転出17件・倒産等4件・現在使用者132件（翌月納付者含む）・給水停止者1件の154件です。

問 下水道の未加入者への対策は

答 現在、未加入者は27%あり、今後も加入促進に努める。現在、平成22年度まで計画したもので、19年度には見直しをする予定です。

### 合併浄化槽の普及は

問 合併浄化槽は、どの程度整備されているのか。

答 平成5年度より補助事業を行っており、昨年

### 団体加入を指導

問 品目横断的経営安定対策は、担い手のみを対象に所得補償が行われるが。

答 平成19年度産の麦の作付農家には、麦の生産実績から過去3年間の換算面積を差し引いた不足に対して助成を行う。町は、1支店1農場、特定農業団体に加入していた

### 老人保健施設の

#### 計画は

問 老健施設の建設計画はどのように考えているのか。

答 特養施設を当初予定していたが、中讃圏のなかで病床数の制約があり、現在老健施設の建設をめざしている。今後、5カ年計画のなかで、協議を重ねていく。18年度は調査費を計上しています。



耐震補強が完了した昭和小学校



# 議会 傍聴記



熱心に傍聴する羽床小学校6年生

羽床小学校 6年  
射場 春風さん



議会の初日に見学に行き、びっくりしたことがたくさんあります。例えば、議長は議員の人がなること、町長さんの座席が低い位置だったこと、国会では意見が飛びかうけど、町議会では静かに行われていたことなどです。また、ふしぎに思ったことは、意見を言う人の下で向かい合って座っている人は、何をすることがかなという事です。話の内容では、町長さんの言った増額、減額などは難しくあまり分かりませんでした。



里山再生について植林をしよう、質問をした議員さんがいました。私は、地域に子どもから大人まで楽しめる設備の整った公園を作ってほしいと思いました。この議会を見学して、議員さん達は、自分たちの町をもっと住みやすい町にしていきたいという考えを話して合っていたことが分かってよかったです。

三原 潤子さん



機会あって、羽床小学校の生徒さんと一緒に12月定例議会を傍聴することができました。

定刻どおり開催され、議員による一般質問が行われ、町長が答弁、議員も身近な問題・新町の諸問題について真剣に取り組み熱弁されていました。障害福祉計画についての質問に対して町長答弁は、施設計画として、梅の里健康つくりを考え、陶病院の院長を交え、町障害福祉計画をたて、利用者負担の軽減サービス・技術の援助等を、国の基準に基づいて検討したいということでした。

私はサービス・技術・安全は基本中の基本であると思う。利用者負担軽減に特に力を入れていたきたいと思います。

## 編集後記

平成の大合併も一段落したが、依然として景気の回復はみられず、置き去りにされそうな、地方自治体の厳しいチェック機関としての役目ばかりでなく、町と住民にとって一歩踏み込んだ形での議会活動を推し進めることも大切ではないかと思う。町民の代弁者として目標に向かって歩み続けたい。

羽床小学校生徒の皆さん、傍聴ありがとうございました。

広報委員会も議会広報の果たす役割を慎重に受け止め、議会の活動状況など「より正確に、より分かりやすく」をモットーに紙面の充実を図りお届けします。

「変らぬご愛読を」

### 議会広報編集委員会

- 委員長 中西 一幸
- 副委員長 松浦 正昭
- 委員 山亀 英信
- 委員 長尾 進
- 委員 石井 和義
- 委員 安藤 利光